

紅葉と旧500円札の富士山を見に行こう

雁ヶ腹摺山～金山鉱泉

実施日 2020年11月8日(日)
 天候 曇り後晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 服部美千代、白石恵美子、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、宇野輝代、峯川弘子 計7名
 費用 電車 JR.1,188円(高尾駅起算)
 @1,720円
 タイム 大月駅(8:23)大峠(9:00~9:17)
 雁ヶ腹摺山(10:13~10:29)婁子山西峰(11:11)婁子山東峰(11:22~12:05)百間干場(13:22)金山峠(13:43)金山鉱泉(15:04)金山(森屋荘)(15:45)

大月駅までの車中とタクシーに乗っている間はガスがかかっている今日は何も見えないかなと思ったが、大峠に着くと、ガスは晴れ、良い天気になった。それもこれも皆さんの日頃の行いがいいから(?)

大峠近くの路上には車が列をなして停まっている。大峠で身支度を整え、雁ヶ腹摺山への標識に従い、行動開始。



最初のうちは紅葉も終わった感じで、葉っぱは皆落ちて、枯れ木も山の賑わい状態。1時間ほどで雁ヶ腹摺山の

山頂に到着。

予報は晴れだったにもかかわらず、残念ながら富士山は雲に覆われて見えない。証拠写真を撮り、南東に延びる尾根を進み、白樺平を過ぎ、婁子山分岐を過ぎ、婁子山へ向かう。



林道を跨いだ辺りから、苔むした巨岩が綺麗だ。婁子山西峰は標示もなく、往きには気づかぬ間に通り過ぎてしまう。婁子山

東峰は岩峰になっている。山頂は狭いが、景色もよいので、少し早い昼食にする。

その後、婁子山東峰を後にし、今度はここが西峰であろうと思われるピークを確認する。



林道に戻り、左に少し進むと白樺平から下って来る道と合流する。婁子山から先に行く登山者はほとんどなく、静かな山歩きが楽しめる。

しばらくは快適な尾根歩きが続き、紅葉も素晴らしい。やがて百間干場の道標がある。金山峠手前の送電鉄塔の辺りで一瞬道を見失ったが、Mさんが道を見つけてくれて、事なきを得る。古い地図では金山峠から金山鉱泉へ下る道があるが、新しい地図ではそこは通行不能になっているため(4年前Wリーダーの山行で通った道だろう)、道標に従い、大袋山方面へ進み、大袋



山分岐を、道標に従って金山民宿村の方へ進む。1時間ほどで金山鉱泉に着く。金山鉱泉の先に橋があったのだが

通り過ぎてしまったため、沢を一度渡り、林道に出る。以前はタクシーが山口館(既に廃業)まで入れたが、現在道が荒れて金山(森屋荘)までしか入れないとの事で、林道を金山まで歩く。

雁ヶ腹摺山からは概ね下り気味のコースだが、いい塩梅にアップダウンがあり、しかもずっと紅葉を楽しみながら歩けたので、良かった。金山峠から金山までの道で所々、わかりにくい部分があり、行く前は少し不安があったが、参加された皆さんのサポートのおかげでほとんど迷うことなく、無事下山できました。参加された皆さん、ありがとうございました。また、一緒に歩ければ嬉しいです。

(記・白石恵美子)

(写真提供・伊藤 久雄)